

1月27日15時30分から選抜高校野球出場校発表があり、本校は近畿大会ベスト8ということで微妙なところでした(近畿枠は6校と神宮大会に大阪桐蔭高校が優勝したのでその枠が1校追加の計7校)。多くの報道の方々が集まれ、選手監督と共に発表をリアルタイムで見ました。正直なところ厳しいかと思っており、発表を見守っていましたが、近畿地区代表の発表になり、発表者が「7校目は兵庫県立社高校」と発表された瞬間にはどのように受け止めて良いのか選手たちも分からないといった感じでした。



私は「ひょ」が聞こえた瞬間思わず飛び上がってしまい、周りの冷静な反応に少し恥ずかしくなったのですが、その後山本監督、高原部長と握手を交わしました。説明の中では、近畿大会で天理高校に打ち勝ったことが評価されたようで、高橋投手の防御率1点台など細かなところも含め検討をされた検討をされたとの報告がありました。私からは「選考されたことに感謝して、課題克服に努めチーム力をあげよう。応援して下さる方々に元気と勇気を与える試合を期待しています。」との激励をし、隈主将がそれに応えるように「頑張ります」との

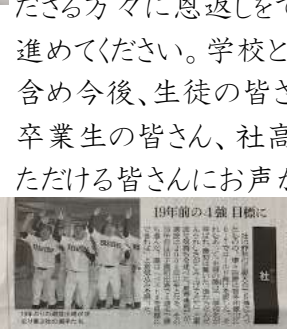


力強い言葉を言ってくれ、握手をして発表を見守る会は終了。その後取材対応となりました。主催者である毎日新聞は、号外をその直後に配布。「社2度目の春」の題で保護者、関係者に配布されました。野球場がおりからの寒さで柔らかく使用できなかったので、体育館下や生徒玄関前で帽子を投げ上げ喜びを爆発させる様子を写真に収められていました。取材は18時過ぎまで続き、少しずつ実感がわいてきました。夏に引き続いての出場となりますが、チームは3年生主体から1.2年生主体でほぼ入れ替わっています。そんな中で大きな

プレッシャーや不安を感じながら、さらにはコロナとも戦いながら、一戦一戦力を付けて勝ち上がった選手の頑張りを評価していただけたことは嬉しい限りです。選考していただいたチームとして恥ずかしくない態度で試合に臨み、応援して下さる方々に恩返しをできるように準備を進めてください。学校としての応援態勢含め今後、生徒の皆さん、地域の皆さん、卒業生の皆さん、社高校を応援していただける皆さんにお声かけをし、3月18日



から始まる選抜大会に臨みたいと思います。よろしくお願ひします。掲載新聞は上段神戸新聞、中段読売新聞、産経新聞、朝日新聞2枚、下段毎日新聞です。さら





にスポーツ紙にも掲載。左からデイリー、スポニチです。学校として皆さんと共に喜び、準備を進めていきましょう。選手の皆さんはケガなく大会を迎えて欲しいですね。頑張ってください。私たちが応援の準備を進めていきましょう。

1月28日には柔道部が近畿大会に出場。個人は栄選手が22日に出場し、1回戦は勝利したものの2回戦で敗退。団体は他県の厳しい壁を破れず初戦

敗退となり悔しい思いをしたようです。課題克服に努め、県総体目指して頑張ってください。1月29日には吹奏楽部がエクラ吹奏楽祭に出演。吹奏楽等のコンサートは写真撮影が禁止のため演奏の様子は掲載できないのですが、北播磨地区の中学校や一般の方々含め多数出演されている中、本校の演奏は人数もあり迫力のある演奏で会場を盛り上げていました。なかなか演奏を披露する場がないのですが、こういった場面での発表を糧として今後の活躍に期待したいです。お疲れ様でした。



さてまもなく1月も終わります。今週末には推薦入試、特色選抜入試の願書が出てきます。2月、3月は入試の準備を進めなくてはなりません。受験生が安心して受検できるよう確認をし、万全にして試験日を迎えたいと思っています。また、4日からはバスケットとバレーの県新人大会が始まります。それぞれが目標とするところまで勝ち上がれるよう、納得のいく試合ができるようコンディションを整えて臨んでください。そして新型コロナ感染は少しずつ落ち着きを見せ始めましたが、インフルエンザもくすぶっており、感染症にはまだまだ注意が必要です。マスク着用についての議論もされているようですが、基本的には個人の判断で状況に応じて着用するようになるでしょう。この3年間あまりの間に制限されることも多く、生徒たちも自ら一歩を踏み出すことができなかったり、行事等の延期や中止で自分たちの気持ちを考えてもらえなかったりすることにより以前の生徒たちと比べて気持ちの持ち方に変化が見られるようです。私たちがそういった生徒の気持ちをしっかりとキャッチして、ご家庭、地域と連携したサポートを考えなくてはならなくなってきました。生徒の皆さん、相談事等あれば遠慮せずに言ってきてください。よろしくお祈りします。